

9/10  
五時



安保法制と安倍政権の暴走を許さない、記者会見する演劇人・舞台表現者の会。9日、東京都新宿区の文学座アトリエ

# 「表現の自由 絶対守る」

演劇人・舞台表現者の会が会見

## 戦争法案反対 600人超

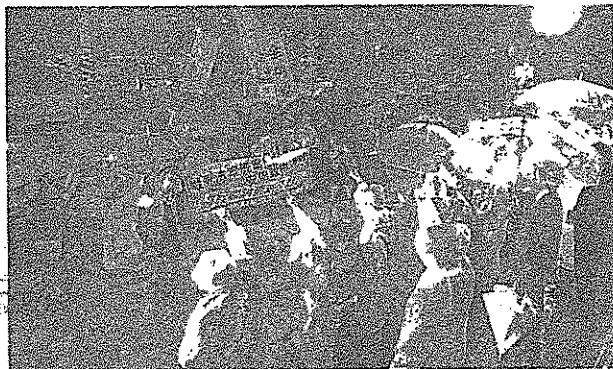
演劇、舞踊、音楽、邦楽などの舞台表現に関わる人たちに安保法制反対の声が大きく広がっています。「安保法制と安倍政権の暴走を許さない演劇人・舞台表現者の会」は9日、東京・新宿区の文学座・稽古場で会見。劇団員など約70人が一堂に会し、同会への賛同者が600人（呼びかけ人40人）を超えて大きく広がっていることを報告、廃案を強く求める声明文を発表しました。

会見には、池辺晋一郎（作曲家）、鶴山仁（演出家・文学座）、川端慎二（俳優・劇団NLT）、佐々木愛（女優・劇団文化座）、西川信廣（演出家・文学座）、福島明夫（製作者・青年劇場）、水谷内助義（製作者・劇団青年座）の呼びかけ人7氏と、劇団員など60人が参加。声明文は、「私たちははかつて、文化芸術が戦意高揚のために使われ、多くの芸術家が戦禍に倒れ、弾圧され、投獄された痛苦な経験を持っていきます。その深い反省から、法案に断固反対します」と強調しています。「表現者としてのア

## 「絶対に阻止したい」

日比谷野音 雨の中、参加者決意

9日、「総がかり行動実行委員会」が主催した戦争法案廃案を求める日比谷野外音楽堂（東京都千代田区）の集会・デモでは、強い



共産、民主、社民の国会議員とともに「戦争法案廃案にするぞ」と唱和する人たち。9日、参院議員面会所前

イアンティティを守り、を表明し続ける」（鶴山氏）、「親の遺言だと

雨が降るなか1時間以上前から市民が集まりました。「戦争法案絶対反対」の意思を示しました。

「ほぼ毎週、金曜夜

思って表現の自由が奪われるような時代が来ることに絶対に反対する」（佐々木氏）、「首相は国民をなめている。黙っているわけにはいかない。想像以上に賛同者が広がった。このままでは終わらせない」（西川氏）などの決意が出されました。

呼びかけ人には、長唄三味線の人園園宝、今藤政太郎さんも参加。7月に死去した俳優の加藤武さんも加わっていました。

のSEALDsの国会前行動に参加している」という東京都八王子市在住の大学院生、もも子さん（23）は「安倍政権は民主主義に反しています。化学を専攻しているので、化学研究が軍事目的に悪用されかねない」と心配。知り合いにも発信していきたくないと話しました。「医療従事者として戦争法案に反対しなればいけない」というのは、職場の仲間と参加した水野千鶴さん（33）も東京都文京区です。「患者や地域の人たちの生活と命に寄り添うことが私たち

の仕事です。戦争は不特定多数の命をいっぺんに奪う。戦争を体験された高齢者の方々が『二度としてはいけない』と伝えてくれています。政府は国民の声を聞くべきです」

世田谷区から夫と一緒に参加した宮田みどりさん（68）は「きょう来ただけでも来られない人たちの思いも背負って来ましたが、平凡な市民一人ひとりが、この法案はおかしいと声を上げています。絶対に阻止しなくてはならない。あきらめないで声を上げたい」と力を込めました。